

*Good Referees make Good Gateball !!*

# GATE BALL TEXT 2021

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <p>1 手洗い・手指の消毒をこまめに</p>  | <p>2 密を避けよう</p>              | <p>3 マスクを着用しよう</p>                |
| <p>4 体調管理をしっかり</p>     | <p>5 大きな声での会話や必要をやめよう</p>  | <p>6 飲食物の共有は厳禁</p>              |
| <p>7 用具も消毒しよう</p>      | <p>8 感染予防対策はみんなで行おう</p>    | <p>9 コロナ差別はダメ、みんなでプレイを楽しもう</p>  |

# ゲートボールテキスト2021 目次



新型コロナウイルス感染症	2
新型コロナ感染予防モデル大会実施マニュアル（概要）	4
スポーツを愛するすべての人へ（JSP0会長メッセージ）	6
アンチ・ドーピング	8
リスクマネジメント	10
公式競技規則&審判実施要領2019の主な変更点	12
審判員制服のご案内	14
記録表の記入方法（例）	16

## 1

## 新型コロナウイルス感染症

**全世界に多くの混乱を出している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）。  
予防や対策に向け、基本知識について理解しましょう。**

### 新型コロナウイルスの特徴

COVID-19の主な症状	注意ポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最もよくある症状 発熱 / 乾いた咳 / 倦怠感</li> <li>● 時折みられる症状 のどの痛み / 下痢 / 頭痛 / 味覚や嗅覚の消失 / 皮膚の発疹、または手足の指の変色</li> <li>● 重篤な症状 呼吸が苦しい、または息切れ / 胸の痛み、または圧迫感 / 言語障害、または運動機能の喪失</li> <li>● 潜伏期間は2～14日程度（平均5日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 無症状率が高く、潜伏期間が長いのが特徴です。無症状のまま治癒することも多く、自覚症状なく、多くの人にうつしてしまう可能性が高いです。</li> <li>● 一方、インフルエンザとの違いとして重症度があります。現時点では感染者数はインフルエンザの方が多のですが、致死率と症状の重さは新型コロナが上回っています。今後、ワクチン接種によって、これらの数値が下がることが見込まれています。</li> <li>● 解明されていない不明な部分が多い。</li> </ul>

### どのように感染する？

現時点では、「飛沫感染」と「接触感染」が主な感染経路として考えられています。

#### 飛沫感染 <<<<<<<<<<

咳やくしゃみのほか、大声を出したときなどに生じる感染者の飛沫にウイルスが含まれており、まだ感染していない人がそのウイルスを口や鼻から吸い込むことによって生じる感染です。咳を1回すると約10万個のウイルスが2 mほど飛ぶとされています。飛沫防止には、ソーシャルディスタンス（人と人との距離を2 m以上あける）の確保と、マスクの着用が重要になります。

#### 接触感染 <<<<<<<<<

感染者が咳やくしゃみを手で押さえた後、その手で周りのモノに触れ、感染していない人がそのモノに触れ、さらにその手で口や鼻などに触れることで生じてしまう感染です。身近な所ではドアノブやスイッチなどがあり、その他、不特定多数の人が触れるような、バスや電車のつり革、エスカレーターや階段の手すりなどが主な場所になります。

手にウイルスが付着してもすぐに手を洗うことができれば、直ちに接触感染とはなりません、目に見えないものであり、すぐの対応がしづらく、結果として、感染を拡大してしまう傾向にあります。こまめに手洗いをする、またはアルコールなどで手指衛生をすることが予防に効果的と言われています。

## 感染リスクが高まる「5つの場面」

場面(1) 飲酒を伴う懇親会等
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。</li> <li>● 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。</li> <li>● 回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。</li> </ul>
場面(2) 大人数や長時間におよぶ飲食
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。</li> <li>● 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。</li> </ul>
場面(3) マスクなしでの会話
<ul style="list-style-type: none"> <li>● マスクなしに近距離で会話をする事で、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。</li> <li>● マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。</li> <li>● 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。</li> </ul>
場面(4) 狭い空間での共同生活
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。</li> <li>● 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。</li> </ul>
場面(5) 居場所の切り替わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。</li> <li>● 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。</li> </ul>

## 基本的な感染対策

新型コロナの症状が出た時は、すでに周囲に感染させている可能性が高いです。症状がないときこそ、基本的感染対策を徹底し、感染&拡大防止に心がけましょう。

- ① 身体的距離の確保 ⇒ できるだけ2 m以上空ける。
- ② マスクの着用 ⇒ 会話をするときは真正面などの対面を避ける。
- ③ 手指や顔をこまめに洗う ⇒ 場合によっては着替えやシャワーを浴びるのも効果的。
- ④ 「3密（密集、密接、密閉）の回避」 ⇒ 換気をする、狭い空間では長居しない。
- ⑤ 発熱や風邪の症状など、体調が良くない時は、自主的に自宅で療養  
⇒ 十分な睡眠、バランスのとれた食事、適度な運動などで、抵抗力を高める。

## 2

## 新型コロナ感染予防モデル大会実施マニュアル

一人ひとりが「うつらない・うつさない」ことを常に意識し、行動していくことが、「withコロナ時代」の安全なゲートボールを創っていくこととなります。

2019年末に、突如として発生した「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」は、またたく間に世界中へと広がり、今なお、その猛威を続けています。このパンデミックは、私たちの日常生活をも大きく変化させており、ゲートボールもまた、「with コロナ時代」として共に生きていく進化をしていかなければなりません。

日本ゲートボール連合では、全国大会再開に備え、専門家にご協力をいただき、「新型コロナ感染予防モデル大会実施マニュアル」と「大会開催判断基準」を作成しました。

これらは、全国大会を前提にして作成していますが、各地での大会・練習・イベント時（以下「大会等」）に役立てていただき、感染リスクを極力低減させた新しいスタイルのゲートボールを確立させ、みんなで安全なゲートボール環境に取り組んでいきましょう。

**コロナ差別は絶対にダメです。万が一、ゲートボール仲間がコロナに感染した、もしくはその疑いがあったとしても、差別をしたり、偏見を持ったり、仲間外れにするような行為は絶対にやめましょう！**

### 注意事項 1 . 休憩時・昼食等の会食時

ゲートボールを楽しんでいる皆さんは、競技だけでなく、人との会話を楽しみとしている方が多いですが、この新型コロナに関しては「会話」が重要事項と言えます。特に、休憩時や昼食などの会食時は注意力が低下しがちです。競技以外でも、距離を保つ、会話をするときはマスクを着用する、皆さんで持ち寄られる飲食物の共有は必ず避けるなどを心がけてください。

### 注意事項 2 . 競技中での対応

競技者同士はもちろんですが、大会等では、審判員やスタッフとの接触機会もできるかぎり減らしていく対応が必要です。参加者に対しては、競技開始前に周知し、協力を要請してください。

- ① 競技者及び審判員は、試合前後に手指を消毒すること。
- ② ボールに触れた時は、できるだけ自身で手指を消毒すること。
- ③ スティック等の用具の共用は避けること。
- ④ タオルや水ボトルなどの共用は禁止すること。
- ⑤ 対面した状態での発声は避けること。
- ⑥ 競技中のハイタッチは避け、エアタッチ等にとどめること。
- ⑦ スタッフが巡回を行い、競技者が密集している場合は、直接注意喚起をすること。
- ⑧ 競技に携わるスタッフに対する注意事項も明確にしておく。

基本遵守	<p>① 大会等では、ルールや競技前後のセレモニー、式典等、感染対策への柔軟な措置を講じること。</p> <p>② マスクを持参し、競技中以外は必ず着用すること。 ※ 競技中は、主催者もしくは参加者の判断による。</p> <p>③ 他の参加者、スタッフとのソーシャルディスタンスを確保すること。</p> <p>④ こまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒をすること。</p> <p>⑤ 感染拡大防止のために主催者が定めた措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。 ※ 遵守できない参加者への参加の取消しや途中退場の可能性を事前周知。</p>
体調確認	<p>参加者（もしくはチーム代表者）やスタッフは、以下の事項を記載したチェックシート等を準備し、事前からの体調管理に心がけ、体調が良くない時は自主的に参加を見合わせる。大会等の主催者は、万が一に備え、来場者すべての方との連絡方法を必ず把握しておくこと。</p> <p>① 参加者全員の氏名・年齢と、代表者の住所・連絡先</p> <p>② 参加者全員の大会当日の体温</p> <p>③ 参加者全員の大会前2週間程度における以下の事項の有無</p> <p>(ア) 平熱を超える発熱</p> <p>(イ) 咳、のどの痛みなど風邪の症状、味覚や嗅覚の異常</p> <p>(ウ) 体が重く感じる（だるさや倦怠感）、息苦しい等</p> <p>(エ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無</p> <p>(オ) 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無</p> <p>(カ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無</p>
トイレ等	<p>洗面所（トイレ）は感染リスクが比較的高いと考えられますが、参加者やスタッフがこまめに手洗い・うがいを行えるよう、主催者等は以下に配慮して管理することが求められます。</p> <p>① トイレ内で、複数の利用者が触れると考えられる箇所（ドアノブ、水洗レバー等）については、こまめに消毒する。</p> <p>② 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。</p> <p>③ 手洗い場には石けん（ポンプ型が望ましい）を用意する。手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。</p> <p>④ 可能な範囲で、手をふくための使い捨てペーパータオルを用意する（参加者にはマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備は使用しない。）</p> <p>⑤ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。</p>
休憩所等	<p>休憩・待機スペース、更衣室等も感染リスクが比較的高いと考えられるため、主催者等は以下に配慮して準備することが求められます。</p> <p>① 参加者が密にならないよう、広さにゆとりを持たせる。</p> <p>② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する人数を制限する等の措置を講じる。</p> <p>③ 室内又はスペース内で、複数の利用者が触れると考えられる箇所（テーブル、イス、ドアノブやロッカーの取っ手など）については、こまめに消毒する。</p> <p>④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。</p>
ゴミ等	<p>鼻水や唾液などが付着したゴミや使用済マスクなどを捨てる際は、ビニール袋に入れて密閉（直接触れることのないようしっかりと封をする）状態でゴミ箱に捨てるとともに、捨てた後は、石けんを使って、流水で手をよく洗いましょう。ご自身だけでなく、ゴミを回収するスタッフ等への感染対策を心がけましょう。</p>

「新型コロナ感染予防モデル大会実施マニュアル」 & 「大会開催判断基準」の全文は日本ゲートボール連合ホームページで確認することができます。



## 3

**スポーツを愛するすべての人へ**

**スポーツの意義と価値を高めるとともに、スポーツがあらゆる人々に一切の差別、格差なく享受され、誰もが望む社会を実現するために取り組むべきこと。**

日本スポーツ協会（2018年4月に日本体育協会から名称変更：JSPO）では、昨今のスポーツ界において発生した事案（ドーピング、加盟スポーツ団体のガバナンス低下、スポーツ指導者による不適切な指導など）により、文化としてのスポーツの価値が脅かされていることを受け、2018年7月、スポーツを愛するすべての人々へメッセージを発信しました。

スポーツを愛するすべての人が「場」を形成する当事者として役割を分担しながら、最適なスポーツの「場」を創っていくために行動しましょう。

**プレイヤーの皆さんへ**【スポーツを心から楽しむ】

「楽しい」「大好き」という気持ちが、スポーツを続ける原動力であり、一人ひとりが主役として、みんなが楽しむことができるスポーツの「場」をつくりましょう。

【互いに尊重し合う】

プレイヤー、仲間、スポーツ指導者、アントラージュは、役割は違いますが、一人の人間としては対等で、尊重されるべき人格があります。

相手を受け容れ、互いに尊敬や感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

【自ら問いを立てる】

常に自分の思考や行動について問いを立て、答えを求め、考える習慣を身に付けましょう。

**スポーツ指導者の皆さんへ**【プレイヤーズセンタード（注1）】

スポーツの主役はプレイヤーです。スポーツ指導者自身の考えを一方向的にプレイヤーに伝えるのではなく、気づきを促し、成長に導いていくコーチングを目指しましょう。

【学び続ける】

プレイヤーに気づきを促し成長に導くため、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得をはじめ、常にコーチングに関する最新の情報を手に入れ、学び続けましょう。

【ワークライフバランス】

スポーツ指導者自身の生活の充実・幸福の追求と併せ、家族・関係者のライフプランの充実も念頭に置きましょう。

【注1】プレイヤーを取り巻くアントラージュ自身も、それぞれのWell-being（良好・幸福な状態）を目指しながら、プレイヤーを中心（センター）として位置付け、そのサポートをしていくという考え方。

## アントラージュ（注2）の皆さんへ

### 【良き理解者となる】

プレーヤーが望むスポーツ活動を理解し、その成長を見守り促すために、良き理解となるよう心がけましょう。

プレーヤーは、スポーツを自ら楽しみ、目標達成を目指す過程の中で、フェアプレーや倫理観、他者を信頼すること、他者に貢献することなどを身に付けることができ「人」としても成長します。

このような視点をもちつつ、互いに協力しあってプレーヤーの成長をサポートしましょう。

【注2】フランス語で「取り巻き、環境」という意味であり、競技環境を整備し、アスリートがパフォーマンスを最大限発揮できるように連携協力する関係者（保護者、アスレティックトレーナー、スポーツドクター、マネージャー、審判員、メディア等のプレーヤーと関わりを持つすべての人々）と定義しています。

## スポーツ団体・組織の皆さんへ

### 【スポーツを愛する人を増やす】

スポーツは、「する」「みる」「ささえる」といった多様な楽しみ方があります。一人でも多くの方がスポーツを生活の中に置いて、生涯を通じて、長く楽しめるような環境を整えていきましょう。

### 【反倫理的行為を根絶する】

日本スポーツ協会は、スポーツの「場」で、暴力行為、暴言、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、ドーピングなどの反倫理的行為の発生や、それらの行為が黙認されることにより、スポーツを敬遠する人が増えるなど、スポーツの価値が低下することを懸念しています。

このことを私たちは再認識し、スポーツの「場」から反倫理的行為を根絶し、団体・組織の経営・運営が、公明正大なものとなるよう共に不断の努力を続けていきましょう。

## 参考：メッセージを補足する参考資料

- スポーツ宣言日本
- フェアプレイで日本を元気に
- 新しい時代にふさわしいコーチングの確立に向けて～グッドコーチに向けた「7つの提言」
- スポーツ界における暴力行為等根絶宣言
- スポーツ指導者のための倫理ガイドライン
- 子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）
- アスリートのアントラージュが大切にしたいこと
- トラブルのないスポーツ団体運営のために・ガバナンスガイドブック

公益財団法人日本スポーツ協会ホームページより抜粋



## 4

## 全世界・全スポーツの共通のルール

スポーツの価値を守り、試合の公平性やアスリートの健康を保護するためにスポーツ界からドーピングを撲滅することが、アンチ・ドーピングの理念です。

「アンチ・ドーピングに関する最新状況」

海外での国ぐるみによるドーピング疑惑だけでなく、クリーンと言われていた日本でも、五輪ライバル選手の飲み物への禁止薬物の混入という前代未聞のドーピング違反が発生するなど、ドーピング問題は後を絶たない状態が続いています。

こうした組織化や巧妙化による複雑化が進み、また科学の発展により、ドーピング検査だけでは限界に達する状態であるため、「検査による摘発（医学領域の追求）」する時代から、「教育・啓発や通報等の捜査体制の強化（法務領域やインテリジェンス・捜査領域の拡大）」する時代へと転換し、事前防止的な取組みの強化が進められていくこととなりました。

### ドーピングに関する法律とは？

2018年10月、日本では初となる「スポーツにおけるドーピングの防止活動の推進に関する法律（平成三十年法律第五十八号）」が施行され、各関係者の責務等が明示されました。

「スポーツにおけるドーピングの防止活動の推進に関する法律」の概要

#### ■ 基本理念

- ① スポーツにおける公平性・スポーツを行う者の心身の健康の保持増進の確保
- ② ドーピングの検査における公平性・透明性の確保
- ③ スポーツ競技会運営団体の自主性・自律性の確保
- ④ スポーツの多様性への配慮

#### ■ 責務等（抜粋）

（スポーツ競技会運営団体の努力）

第7条 スポーツ競技会運営団体は、基本理念にのっとり、ドーピング防止活動に主体的かつ積極的に取り組むよう努めるものとする。

#### ■ 基本施策

- ① ドーピング検査専門人材等の育成・確保
- ② 研究機関が行う研究開発の促進
- ③ 国民に対する教育および啓発の促進
- ④ 医師、歯科医師、薬剤師等の医療従事者に対する情報提供、研修機会の確保
- ⑤ 行政機関、JSC（日本スポーツ振興センター）、JADA、WADAの間の情報共有
- ⑥ 文部科学大臣から関係行政機関の長に対する協力の要請
- ⑦ 国際協力の推進、JSC、JADAとWADAとの連携

## 使用可能な薬リスト2021年版（一部）

日本スポーツ協会のホームページでは、使用可能な薬のリストを公開していますので、必ずご確認ください。ここでは、その一例を掲載します。

※ 本リストは、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の禁止表国際基準（1月1日発効）に伴い、毎年改定されますので、ご注意ください。

※ 下記の市販薬は名前全体が「完全一致」することを確認してください。



### 【鎮痛・解熱等】処方薬：

- ・アスピリン
- ・イミグラン
- ・カロナール ほか

### 【鎮痛・解熱等】市販薬：

- ・バファリンA
  - ・フェリア
  - ・ロキソニン
- （S、Sプラス、Sプレミアム）

### 【高血圧】処方薬：

- ・アジルバ錠（アジルサルタン）
  - ・アダラート（ニフェジピン）
  - ・アムロジン
  - ・オルメテックOD錠
  - ・ブロプレス錠
  - ・ニューロタン錠
  - ・ノルバスク
- ※ 利尿薬との配合薬は禁止

## アンチ・ドーピングや薬に関する最新の正しい情報を把握する

うっかり飲んだ風邪薬や花粉症の薬だけでなく、病院で処方される薬、漢方薬、サプリメントにも禁止物質が含まれているものがあります。さらに、塗り薬や貼り薬、目薬にもあります。大切なことは、アスリート自身が、常に最新の情報収集に努め、専門家へ相談をしながら、正しいルールを理解し、守ることです。以下の専用サイトを、ぜひご利用ください。



日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のホームページでは、アンチ・ドーピングの基本をはじめ、検査手順の動画など、すべての最新情報を確認することができます。



「スポーツファーマシスト」とは、最新のアンチ・ドーピングに関する知識・情報を持つ、JADA公認の薬剤師のことです。各都道府県のスポーツファーマシストを検索することができます。



「Global DRO」は禁止表国際基準に基づいた検索サイトで、薬の成分に禁止物質が含まれているかどうかを検索することができます。



公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構ホームページより抜粋

## 5

## 審判員としてのリスクマネジメント

**公正で円滑な審判実務は、競技を成立させるだけでなく、無用なトラブルを防ぎ、安全な環境づくりへとつながっています。**

少なからずとも体に負担（筋力や心肺等）をかけることが前提であるスポーツにおいては、スポーツ活動中のリスク（ケガや事故等）の責任は、「原則、自己責任」と考えられることが一般的です。ただし、明らかにリスクの発生が予見できたり（予見可能性）、明らかに回避できたはずなのに（回避可能性）リスクが発生してしまった場合、さらにはケガや事故への対応が適切でなかった場合などは、その状況を作ったとして、イベントの主催者や担当審判員が責任を問われる可能性は十分考えられます。

リスクを未然に防ぐためにも、また、いつどのようなリスクが発生しても、すみやかに対処できるよう、日頃から予防・対応・検証のサイクルに取り組んでいかなければなりません。

### リスクマネジメントのサイクル

- 予防：ガイドラインの策定と共有、連絡系統の確立、危険箇所の把握、救急箱の準備等
- 対応：かすり傷や骨折などの一般的なケガへの対処法、AEDの使用法の習得等
- 検証：ケガや事故等の記録、関係者との事後報告会議、今後の対策への活用等

審判員が行うべき主な「安全配慮義務」は次のとおりですが、これらは、競技者だけでなく、自分たち審判員自身にも該当するものであり、一人ひとりが注意する必要があります。

体調管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明らかに体調が悪そうに見える場合、またプレー中、何らかの原因により途中から具合が悪くなった場合などでは、本人やチームからの申し出がなくても、プレーを辞めさせ休憩を促すことも必要です。競技開始前から終了後のセレモニーを通して、常に競技者の顔色や行動などに注意を払う必要があります。</li> </ul>
会場管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゲートボールでは、設営物や施設によるケガ等が多く発生しています。競技開始前の用具点検だけでなく、試合ごとに、コートを設置状況を確認・修正する必要があります。また、会場内でケガが起きやすいと思われる階段や段差には、注意紙を貼るなどの対応も考えましょう。</li> </ul>
天災等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋外であれば、雨や雪、急な雷や突風などに十分注意し、プレーを続けることが危険と判断した場合には、直ちに競技を一時中断（または中止）し、必要に応じて、競技者の避難等の対応が必要となります。</li> <li>● 炎天下や（熱がこもりやすい）屋内での競技においては、適宜、水分補給や休憩を行うなど、熱中症対策への配慮が必要です。</li> </ul>

参加者が楽しく、安全に競技を行うためには、まず、競技規則を遵守させることによる対等な条件と秩序の確保が重要な基本と言えます。そして、公正で円滑な審判実務により、競技を正しく成立させ、参加者すべてに対し、安全で安心な環境を提供することが審判員の義務であり、リスクマネジメントの始まりとなります。

## 6

## ゲートボール活動中のケガ等を未然に防ぐには

いつ、どのようなケガや事故が発生しているのか。競技者も審判員も、お互いに声をかけ合い、ゲートボールによるケガ「0（ゼロ）」を目指しましょう。

日本ゲートボール連合では、誰もが安全にゲートボールを楽しむことができるよう、事故防止事業登録者を対象に大会等での事故や傷病の事例を収集し、ゲートボール活動中の事故防止や予防に取り組んでいます。2020年度に報告のあった事例は以下のとおりです。

主な事故状況等(審判での活動を含む)	2019	2020	
	件数	件数	割合
① コートのライン、ゲート、ゴールポールでつまづく等	11	6	26%
② スティックやボールが身体に当たる等(スパーク打撃、アウトボール)	0	1	4%
③ 競技中のその他のケガ等(転倒、他人との接触等)	4	7	30%
④ テントやパイプイス等、設営物によるケガ等(準備・撤去を含む)	2	0	0%
⑤ 施設でのケガ等(階段や段差、ネット等)	7	4	18%
⑥ その他(主に体調不良、既往症、突発的な意識不明等)	17	2	9%
⑦ 往復路での事故等(駐車場内での段差や車を操作中等)	2	1	4%
⑧ 往復路での事故(往復路での転倒や交通事故等)	5	2	9%
合 計	48	23	100%

	参加中の傷害事故等			参加中の疾病等			往復路での事故等			合計
	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	
捻挫・脱臼	1									1
創傷		1								1
挫傷・打撲	2	1								3
骨折	4	7					1	1		13
心臓器系障害										0
脳疾患		1			1					2
熱中症										0
その他		1				1			1	3
小計	7	11	0	0	1	1	1	1	1	23
合計			18			2			3	

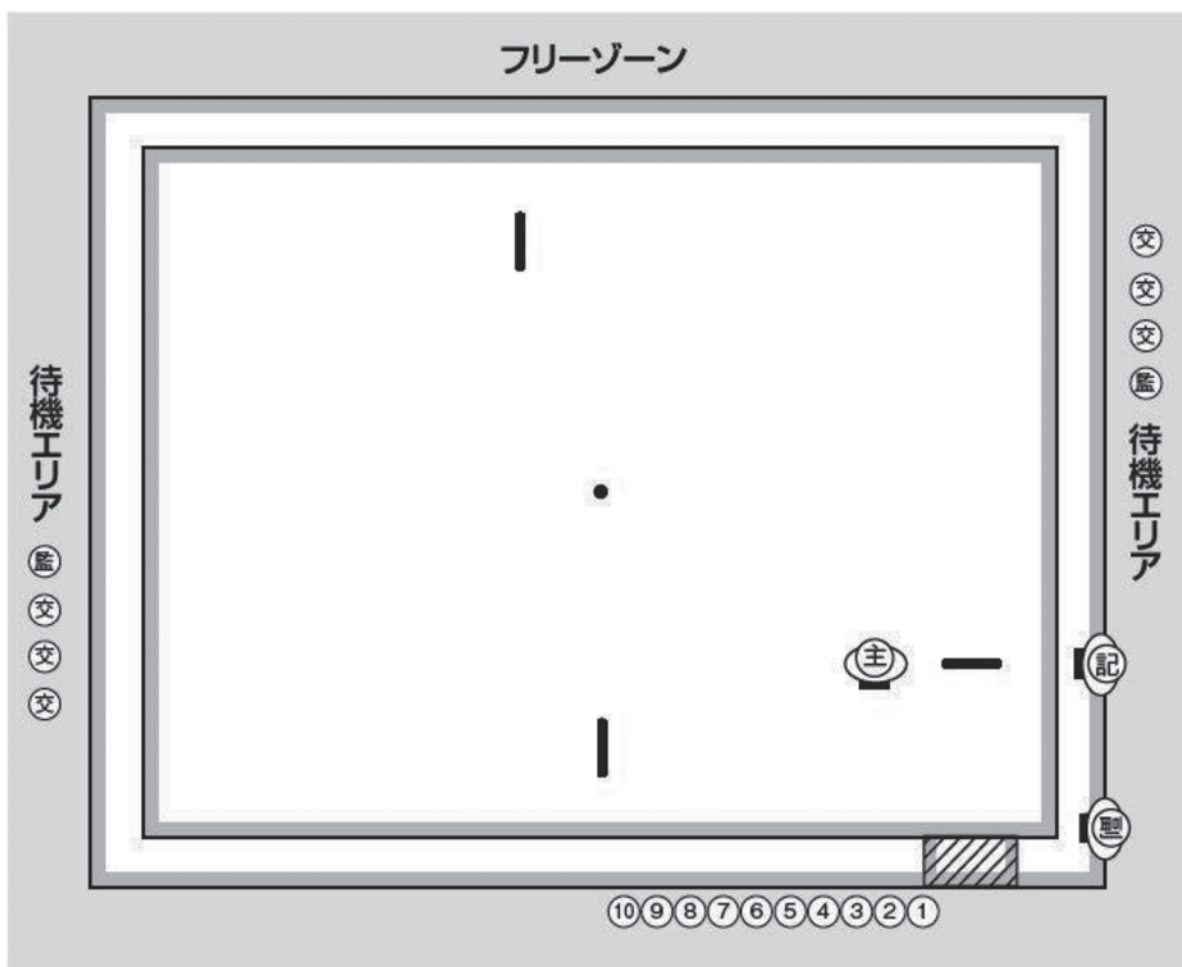
## 7

## 審判実施要領2019の主な変更点

世界連合の国際公式ゲートボール競技規則・審判実施要領の一部改正にあわせ、日本国内の同競技規則・審判実施要領の改正が2019年4月より施行。

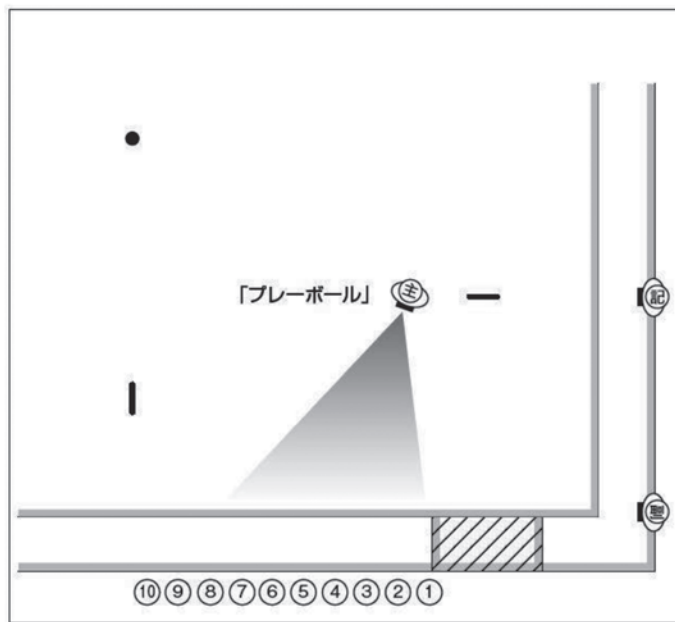
### 競技開始時の副審の位置（審判要領 P47-48）

- 1) 審判員は、次の例に則り、両チームを競技開始時の位置に整列させる。
  - ① 主審が「競技開始時の位置に整列してください」と通知する。
  - ② 審判員が監督と交代競技者を待機エリアに移動させる。
  - ③ 審判員が先発競技者を第4ラインの外側のフリーゾーンに整列させる。  
※ このとき、副審が打順番号とボール番号を確認する。
- 2) 主審、副審、記録員は、下図のとおり位置する。
  - ① 記録員（および線審）は、アウターゾーンに位置することを基本とする。



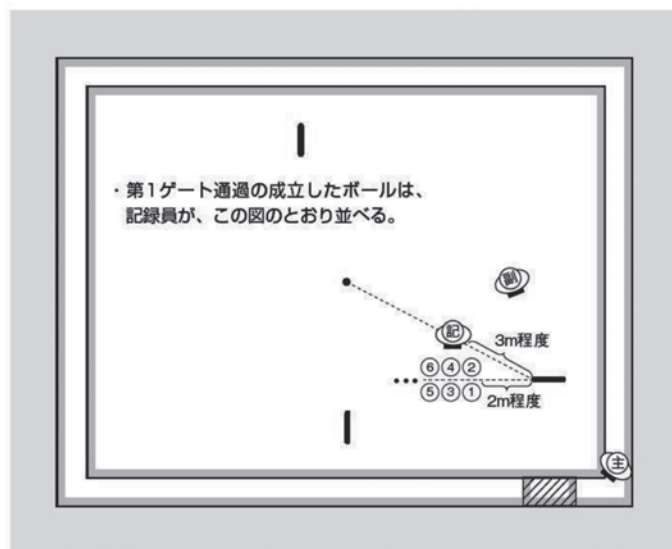
## プレーボールのジェスチャーの廃止（審判要領 P49、P93）

- 1) 「競技開始」の合図で、主審は、5番と6番の競技者の方向に向かって、基本姿勢のまま「プレーボール」を宣告した後（下図）、1番の競技者に向きを変えて打順通告を行う。
- 2) 主審は、「1番」の打順通告後、ボールの移動を判定する位置に最短で移動し、B審判員になる。※ 審判要領 P72「図-17」参照。



《基本姿勢》

## 同点決勝時の副審の位置（審判要領 P55）



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## 審判員制服のご案内

次に紹介する「日本ゲートボール連合 認定審判員制服」の購入については、47都道府県の加盟団体にお問い合わせください。



### <冬用長袖ポロシャツ>

(男女共通モデル)



男女兼用の紺と白の大胆なレフリーストライプの長袖ポロです。三つボタンのかぶり式でレフリーストライプを固定できる仕様になっています。

XXS~XXLまでの7サイズ展開  
通常の吸汗速乾機能と耐洗濯性を2倍にした機能を持つ  
高耐久吸汗速乾機能素材  
(ポリエステル100%)

価格:4,980円(税込)

### <夏用長袖ポロシャツ>

(男女共通モデル)



男女兼用の紺と白の大胆なレフリーストライプの長袖ポロです。三つボタンのかぶり式でレフリーストライプを固定できる仕様になっています。

XXS~XXLまでの7サイズ展開  
通気性の高い生地で発汗時のべとつきを抑制する吸汗速乾機能素材  
(ポリエステル100%)

価格:4,980円(税込)

### <男子ニットスラックス(通年)>

(男子専用モデル)



サイドにラインが入ったスポーティーなモデルです。  
ウエスト脇ゴム仕様  
XS~4XLまでの  
8サイズ展開  
べとつきにくい・体が冷えにくい・サラッとした着心地が特徴のオールシーズン対応の快適吸汗速乾機能素材  
(ポリエステル100%)

価格:5,500円(税込)

### <女子ニットスラックス(通年)>

(女子専用モデル)



サイドにラインが入ったスポーティーなモデルです。  
ウエスト脇ゴム仕様  
XS~4XLまでの  
8サイズ展開  
べとつきにくい・体が冷えにくい・サラッとした着心地が特徴のオールシーズン対応の快適吸汗速乾機能素材  
(ポリエステル100%)

価格:5,500円(税込)

### <夏用半袖ポロシャツ>

(男女共通モデル)



男女兼用の紺と白の大胆なレフリーストライプの半袖ポロです。三つボタンのかぶり式でレフリーワッペンを固定できる仕様になっています。XXS~XXLまでの7サイズ展開。通気性の高い生地で発汗時のべとつきを抑制する吸汗速乾機能素材(ポリエステル100%)

価格:4,700円(税込)

### <レフリーキャップ(通年)>

(男女共通)



男女共用のメジャーリーグタイプのツバに白いラインが入った六方型のベースボールキャップです。6方のうち正面の2方が紺色でレフリーの刺繍が入り、後ろはストラップでサイズ調整が可能です。フリーサイズになります。通気性の良好な二重編み構造のラッセルメッシュ使用(ポリエステル100%)

価格:2,800円(税込)

### <ウインドブレーカー:上>

(男女共通モデル)

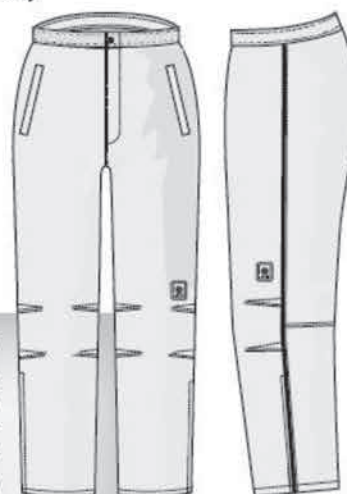


男女兼用の格納式フードが付いた前ファスナー式のハーフコートです。防風、防寒性の他、小雨などにも対応できる便利なものです。XS~XXLまでの6サイズ展開。軽くてソフトな風合いが特徴の耐久撥水透湿防水機能素材(ポリエステル100%)

価格:7,200円(税込)

### <ウインドブレーカー:下(通年)>

(男女共通モデル)



下に履いているパンツのポケットに手が入るような仕様の貫通ポケットが付いたウエストゴム仕様のオーバーパンツです。上着同様の機能があります。XS~XXLまでの6サイズ展開。軽くてソフトな風合いが特徴の耐久撥水透湿防水機能素材(ポリエステル100%)

価格:5,500円(税込)



## 記録表の記入方法（例）

記録表は、単なる競技の結果だけでなく、競技がどのように進行されたかが分かる公式の記録です。記録表の記入方法について、今一度、確認をしましょう。

記録表 / SCORE SHEET

競技名 Competition Name		第45回 全日本ゲートボール選手権大会		コート番号 Court No.	07	開始時刻 Start	13:10
会場名 Venue		県立総合運動場		年月日 Date	2029年9月18日		試合・打順 Match No.
						終了時刻 End	13:42

先攻チーム / Leading Team						巡回数 / Round															後攻チーム / Following Team					
トス / Toss																					トス / Toss					
選手番号 / No.																					選手番号 / No.					
選手名 / PLAYERS NAME																					選手名 / PLAYERS NAME					
① 山内敏夫						1G	2G	3G	上がり GP	得点 Points	1G	2G	3G	上がり GP	得点 Points	2 小島修一										
3 林周一						3	✓	✓		2	4	✓	✓		2	4 尾崎三郎										
5 太田寿一						5	✓	✓	✓	3	6	✓	✓	✓	5	6 松島みよ子										
7 清水道子						7				0	8	✓	✓	✓	3	8 渡辺育雄										
9 山本幸治						9	✓	✓		2	10				0	10 田村芳子										
交代 7-1 杉山あき子						主将サイン / Cap. Sign			総得点 / TEAM POINTS			主将サイン / Cap. Sign			総得点 / TEAM POINTS			交代 8-2 高橋英雄								
交代 8-1 河野知男						山内敏夫 (12)			高橋英雄 12			交代 8-1 浅井秋子														
交代 8-2												交代 8-2 後藤村美														
交代 8-3												交代 8-3 石谷幸三郎														
同点決勝 / Tiebreaker									決定打順 / Set-No.																	
主審 / Chief Referee						藤井実			副審 / Assistant Referee			田中哲雄			記録員 / Recorder			中野隆志			特記 / Remarks					
															線審 大川紀子											

トスが終了した後、先攻・後攻の選択権を得たチームが選択した方に「✓」を記入する。

交代の申し出があったとき、交代する競技者を確認し、「打順 - その打順の何番目の交代か」を記入する。

主将を確認し、打順に「○」をつける

主審が交代の宣告をしたときに、仕切り線を記入する。

「○」の打順通告があるときに「✓」で消していく。

線審がいる場合は、特記に記入する。

### 特に注意すべき記入方法

- 1) 【競技開始前】 トス
  - ① トスにより先攻・後攻の選択権を得たチームに対し、トス欄に「✓」を記入する。
- 2) 【競技開始前】 オーダー表の記載内容
  - ① 主将の打順番号（主将が交代者の場合は、交代者の項目）を「○」でかこむ。
- 3) 【競技開始時】 競技開始の時刻を記入する。
- 4) 【競技中】 巡回数（1番の打順通告が行われるごとに、「✓」で巡回数を消していく。）
- 5) 【競技中】 ゲート線にかかわる記入（競技規則・審判実施要領P90「図-30」参照）
- 6) 【競技中】 競技者の交代
  - ① 交代の申し出があったとき、交代する競技者を確認し、該当する交代競技者の項目に、打順と、その打順の何番目の交代かを「\*（打順） - \*（何番目か）」を記入する。
  - ② 主審が交代を宣告したとき、得点チェック欄の該当する枠内に、仕切り線を記入する。
- 7) 【競技終了時】 競技終了の時刻を記入する。
- 8) 【競技終了後】 打順ごとの得点とチームの得点を記入する。
  - ① 主審は、記録内容を確認し、勝ったチームの総得点を「○」でかこむ。

## ゲートボールテキスト 2021

発行日 2021年7月10日

発行者 公益財団法人日本ゲートボール連合

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2

電話：03（6384）5935

<http://www.gateball.or.jp/>

印刷 エーアンドエー株式会社

不許複製 公益財団法人日本ゲートボール連合の許可なく複製・転載はできません。





## つなげていきます スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、  
日本のスポーツを育てるために  
使われています。

スポーツくじ  

